

## 11 ヨーロッパ系ミュージカル

- ・もともとオペレッタの伝統があった
- ・20 世紀半ばにはアメリカやイギリスの影響が強かった
- ・ロイド=ウェッバーがヨーロッパからブロードウェイに進出する先鞭をつけた
- ・1980 年代からミュージカルの発信源として注目される

### ■マッキントッシュとシェーンベルグ

#### キャメロン・マッキントッシュ Sir Cameron Mackintosh 1946-

ロイド=ウェッバーと「キャッツ」「オペラ座」で成功。  
一方でフランスのミュージカルに注目、シェーンベルグの「レ・ミゼラブル」と「ミス・サイゴン」でブロードウェイ進出、成功させた

#### クロード=ミシェル・シェーンベルグ Claude-Michel Schönberg 1944-

1973 年にロック・ミュージカル「フランス革命」で作曲と出演  
ソロ歌手としても活動  
作詞家アラン・ブーブリルとの共同で「レ・ミゼラブル」(1980)と「ミス・サイゴン」(1989)が成功  
その後もミュージカルやバレエなどを作曲

#### ●レ・ミゼラブル 1980

ヴィクトル・ユゴーの小説にもとづく  
仮釈放の身であるジャン=バルジャンが、警視ジャベールにつきまとわれながらも、養女コゼットを守るため、犯罪歴を隠したまま良き市民としての生活を貫こうとする姿を、7 月革命を背景に描く

#### ●ミス・サイゴン 1989

歌劇「蝶々夫人」の翻案  
ベトナム戦争下のサイゴンが舞台  
娼館で働くキムは米兵クリスと恋仲になるが、クリスは帰国する。

### ■ウィーンのミュージカル

ヨーロッパとアジアで上演

#### クンツェ(作詞)とリーヴァイ(作曲)

##### ●エリーザベト(エリザベート) 1992

オーストリア=ハンガリー帝国の皇后エリーザベト(1837-1898)の生涯を自由なフィクションとして描く  
ドイツ貴族の娘エリーザベトは、幼い頃から自由を求めている。オーストリア皇帝フランツ・ヨーゼフ 1 世との結婚後も、束縛の多い宮廷の中で魂の自由を求め続ける。トート(死)が「自分のもとでは自由になれる」と誘うが、それも拒絶する。息子ルードルフを失い、政治的動乱に翻弄される中でエリーザベトは刺殺され、トートのもとでようやく安らぎを得る。

モーツァルト!	1999
レベッカ	2006
マリー・アントワネット	2006

#### クンツェ(作詞)とスタインマン(作曲)

ダンス・オブ・ヴァンパイア	1997
---------------	------

### ■フランスのミュージカル

ノートルダム・ド・パリは米を含む各地、他はヨーロッパとアジアで上演

ノートルダム・ド・パリ	1998
ロメオとジュリエット	2001
太陽王	2005
クレオパトラ	2009
1789 -パステューユの恋人たち-	2012

など